

2022年 コープデリ生活協同組合連合会は 設立30周年を迎えます

7月で設立30周年を迎えるコープデリ生活協同組合連合会（コープデリ連合会）。でも、名前を初めて見聞きする方も多いのでは。コープデリ連合会の役割や、30年のあゆみをお伝えします。

コープデリ連合会とは？

コープデリ連合会は、1都7県6生協から成る連合会です。組合員のさまざまな願いをかなえるため、1992年7月21日、「生活協同組合連合会コープネット事業連合」として設立されました。そして2017年、グループの事業と組織をより円滑に認知・理解していただけるよう、コープネット事業連合の名称を「コープデリ生活協同組合連合会」へ変更しました。あわせて宅配の事業ブランド「コープデリ」を宅配事業・店舗事業の共通のブランド名称にしました。

コープデリ連合会は、6生協の商品の開発や仕入れ、検査、物流、システム、人材育成などを担っています。生協は全国にたくさんあり、それぞれ歴史や考え方が異なりますが、単独では難しい業務もあります。これらの業務を共同化してコープデリ連合会が担い、厳しい経営環境の中で効率的に運営することで、組合員のくらしを支えています。

コープデリ連合会と会員生協

は、コープデリグループとして理念「CO・OP」ともにはぐくむくらしと未来・ビジョン「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ」を掲げています。同じ理念・ビジョンのもと事業・活動を進め、組合員のくらしに貢献することをめざしています。

共同化で効率良く運営しています

コープデリ連合会で商品をもとめて仕入れることで、利用しやすい価格で取り扱うことや取り扱い商品数を増やすことができます。また、より多くの組合員さんの声を集め、共有することで、商品の改善やサービスの向上につながることでできます。組合員さんの「こんな商品あったらいいな」の声を反映し、商品を開発しています。



商品グループインタビュー。組合員の皆さまから、商品の改善に向けてさまざまな声を聞かせていただいています

物流センターを各地域に配置し、効率良く集品・分荷し、宅配センターや店舗への商品配送を行っています。

コープデリ連合会では独自の商品検査センターを持ち、年間約3万件の検査を行っています



商品検査センターは、フードチェーン全体での食の安全の取り組みが機能していることを、科学的・客観的に確認しています



桶川要冷蔵集品センター（埼玉県桶川市）。冷蔵商品などを集品・分荷し、宅配センターへ配送しています



コープデリ連合会（本部：埼玉県さいたま市）

コープデリグループ 会員生協と組合員数

コープデリグループの6生協合計の組合員数は520万人を超え、生協として日本最大規模の組織です

- コープみらい[※]：365.2万人
- いばらきコープ：38.9万人
- とちぎコープ：27.2万人
- コープぐんま：33.7万人
- コープながの：32.9万人
- コープデリにいがた：23.8万人

（2022年5月20日現在）

※コープみらいは、千葉県・埼玉県・東京都を事業エリアとする生協です

各生協の 歴史や商品を 大切にしています

共同で行う業務もある一方、各生協の歴史や地域特有の商品を大切にしています。宅配の商品カタログ「ハビ・デリ！」の「ご当地マルシェコーナー」は、地元で製造していたり、地域になじみのある商品を各生協ごとに紹介しています。



「ハビ・デリ！」誌面イメージ



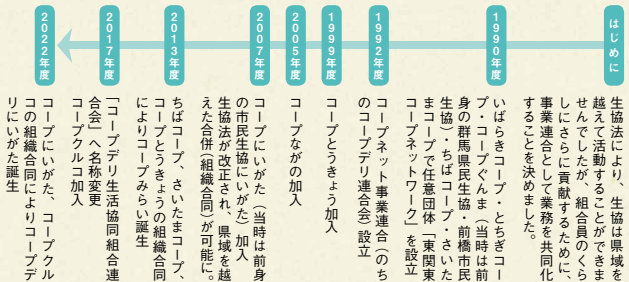
「ご当地マルシェ」ロゴ。各生協ごとに異なります



コープデリ連合会 30周年ロゴマーク

設立30周年に合わせてロゴマークを作成しました。「感謝」「継承」「挑戦」を3色のカラーで表現しています。

あゆみ



7月30日は、「消費生活協同組合の日（生協の日）」です。生協の日にあわせて、「生協を使ってよかった」と思ったエピソードを募集します！
期限は7月31日まで。

応募はこちらから▶

